

平成 27 年 3 月 17 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 コ ラ ボ ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 茂 木 貴 雄
(コード番号：3908)
問 合 せ 先 取 締 役 青 本 真 人
(TEL. 03-5623-3391)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 27 年 3 月 17 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【単体】

(単位：百万円、%)

項目	決算期	平成 27 年 3 月 期 (予想)			平成 27 年 3 月 期 第 3 四半期累計期間 (実績)		平成 26 年 3 月 期 (実績)	
			構成比	対前期増減率		構成比		構成比
売 上 高		1,450	100.0	6.8	1,081	100.0	1,357	100.0
営 業 利 益		165	11.4	13.5	161	15.0	145	10.7
経 常 利 益		163	11.3	13.5	161	14.9	144	10.6
当期(四半期)純利益		101	7.0	20.1	101	9.4	84	6.2
1 株 当 たり 当期(四半期)純利益		190.88 円			202.32 円		169.02 円	
1 株 当 たり 配 当 金		0 円 00 銭			—		0 円 00 銭	

- (注) 1. 当社は子会社がありませんので、連結財務諸表及び四半期連結財務諸表は作成しておりません。
2. 平成 26 年 3 月 期 (実績) 及び平成 27 年 3 月 期第 3 四半期累計期間 (実績) の 1 株当たり当期 (四半期) 純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。
3. 当社は、平成 26 年 12 月 24 日付で普通株式 1 株につき 100 株の株式分割を行っております。上記では、平成 26 年 3 月 期の期首に行われたと仮定して、1 株当たり当期 (四半期) 純利益を算定しております。
4. 平成 27 年 3 月 期 (予想) の 1 株当たり当期純利益は、公募株式数 (83,400 株) を含めた期中平均発行済 (予定) 株式数により算出しております。

以 上

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年3月17日

上場会社名 株式会社コラボス 上場取引所 東
 コード番号 3908 URL <http://www.collabos.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 茂木 貴雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 青本 真人 TEL 03(5623)3391
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,081	—	161	—	161	—	101	—
26年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	202.32	—
26年3月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成26年3月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年3月期第3四半期の数値及び平成27年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 当社は、平成26年12月24日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。平成27年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	871	591	67.9
26年3月期	740	467	63.1

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 591 百万円 26年3月期 467 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,450	6.8	165	13.5	163	13.5	101	20.1	190.88

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2. 当社は、平成26年12月24日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割の発行済株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期3Q	549,600株	26年3月期	499,600株
27年3月期3Q	—株	26年3月期	—株
27年3月期3Q	503,418株	26年3月期3Q	—株

(注) 当社は、平成26年12月24日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載される業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料のP2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第 3 四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日本銀行による経済対策や金融緩和策などにより主に大手企業の業績改善、さらには良好な雇用環境を背景に、緩やかな景気回復基調で推移しました。しかしながら消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動から回復ペースが鈍く、物価上昇に伴う実質賃金減少による個人消費の減退や、シェール革命を起因とした急激な原油安による世界的な経済の下振れリスクの顕在化、中国をはじめとする新興国の経済成長鈍化など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社が属するクラウドサービス市場は、スマートフォンやタブレット端末などの通信端末の普及拡大や各通信事業者の相次ぐ高速通信回線の提供に伴って、クラウドコンピューティングやビッグデータに対するさまざまなサービス形態が登場し、最近では企業の新システム構築時には 8 割以上の企業がクラウドサービスを検討するなど、クラウドサービスに対して慎重であった企業の心境変化等も手伝って、市場は拡大の一途をたどっており、2015 年度には約 1 兆円市場をも超えるとも言われています。

このような環境下、当社はコールセンター向けにクラウドサービスを提供していますが、その中でも主力商品である@nyplaceを中心に売上高は順調に推移しており、COLLABOS PHONEやCOLLABOS CRM、COLLABOS CRM Outbound Edition等のユーザビリティの高い商品もそれぞれ順調に推移した結果、売上高は@nyplace関連で834,938千円、COLLABOS PHONEで64,936千円、COLLABOS CRMで138,886千円、COLLABOS CRM Outbound Editionで27,366千円、その他売上高で15,172千円となり、第 3 四半期累計期間で売上高は1,081,300千円となりました。営業利益は161,872千円、経常利益は161,552千円、四半期純利益は101,854千円となりました。

当第 3 四半期累計期間における売上高、売上原価、販売費及び一般管理費の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 売上高

当第 3 四半期累計期間は、@nyplace関連のコールセンター席数は順調に推移し、680席増加し4,655席となり売上高は834,938千円となりました。COLLABOS PHONEのチャンネル数（同時回線接続数）は200チャンネル増加し623チャンネルとなり売上高は64,936千円となりました。COLLABOS CRMの利用ID数は318ID増加し2,511IDとなり売上高は138,886千円、COLLABOS CRM Outbound Editionの利用ID数は92ID増加し443IDとなり売上高は27,366千円となりました。その他売上高で15,172千円となり、第 3 四半期累計期間で売上高は1,081,300千円となりました。

② 売上原価

当第 3 四半期累計期間の売上原価は、628,749千円となりました。主に各サービスそれぞれで回線料、ネットワーク機器等の保守料、ホスティング費用、顧客毎のコールフロー設定等の作業料等が発生し、@nyplace関連で444,824千円、COLLABOS PHONEで76,767千円、COLLABOS CRM（含む、Outbound Edition）で95,776千円となりました。

③ 販売費及び一般管理費

当第 3 四半期累計期間の販売費及び一般管理費は、290,678千円となりました。主な内訳は、人件費161,568千円、業務委託費、広告宣伝費、旅費交通費等の人件費以外の経費129,109千円であります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期累計期間末における資産・負債及び純資産の状況と主な要因は次の通りです。

① 資産

当第 3 四半期累計期間末における総資産は、前年度末に比べて130,794千円増加し、871,031千円となりました。主な要因は、売掛債権の回収による現預金の増加及び、データセンター資産の増設等による増加であります。

② 負債

当第 3 四半期累計期間末における負債は、前年度末に比べて6,940千円増加し、279,335千円となりました。主な要因は、未払法人税等の支払い、有利子負債の返済による減少がある一方、データセンター設備の増設によるリース債務の増加によるものであります。

③ 純資産の部

当第 3 四半期累計期間末における純資産の部は、前年度末に比べて123,853千円増加し、591,695千円となりました。主な要因は、利益剰余金が101,854千円増加、ストックオプション行使により資本金及び資本剰余金が合計して22,148千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

該当事項はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第 3 四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	184,617	297,656
売掛金	177,488	170,258
前払費用	8,798	8,467
繰延税金資産	3,230	3,230
その他	4,465	8,094
貸倒引当金	△532	△534
流動資産合計	378,067	487,173
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,078	4,078
工具、器具及び備品	353,629	358,908
リース資産	72,464	125,100
減価償却累計額	△295,187	△335,758
有形固定資産合計	134,985	152,328
無形固定資産		
ソフトウェア	142,381	119,836
ソフトウェア仮勘定	30,992	58,501
その他	414	414
無形固定資産合計	173,789	178,753
投資その他の資産		
差入保証金	26,569	25,949
破産更生債権	-	547
繰延税金資産	26,825	26,825
貸倒引当金	-	△547
投資その他の資産合計	53,394	52,775
固定資産合計	362,169	383,857
資産合計	740,236	871,031

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	50,420	51,160
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	36,095	16,656
リース債務	15,285	25,249
未払金	22,014	22,613
未払費用	3,989	3,652
未払法人税等	45,434	26,604
未払消費税等	8,884	20,353
前受金	2,482	1,727
その他	2,118	3,307
流動負債合計	216,724	201,325
固定負債		
長期借入金	13,912	2,808
リース債務	41,758	75,202
固定負債合計	55,670	78,010
負債合計	272,395	279,335
純資産の部		
株主資本		
資本金	134,900	145,974
資本剰余金	114,900	125,974
利益剰余金	217,330	319,184
株主資本合計	467,130	591,132
新株予約権	711	562
純資産合計	467,841	591,695
負債純資産合計	740,236	871,031

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	1,081,300
売上原価	628,749
売上総利益	452,550
販売費及び一般管理費	290,678
営業利益	161,872
営業外収益	
受取利息	18
受取手数料	58
受取補償金	439
還付加算金	697
営業外収益合計	1,213
営業外費用	
支払利息	1,533
営業外費用合計	1,533
経常利益	161,552
特別利益	
新株予約権戻入益	0
特別利益合計	0
特別損失	
固定資産除却損	119
特別損失合計	119
税引前四半期純利益	161,433
法人税等	59,578
四半期純利益	101,854

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、クラウドサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。